

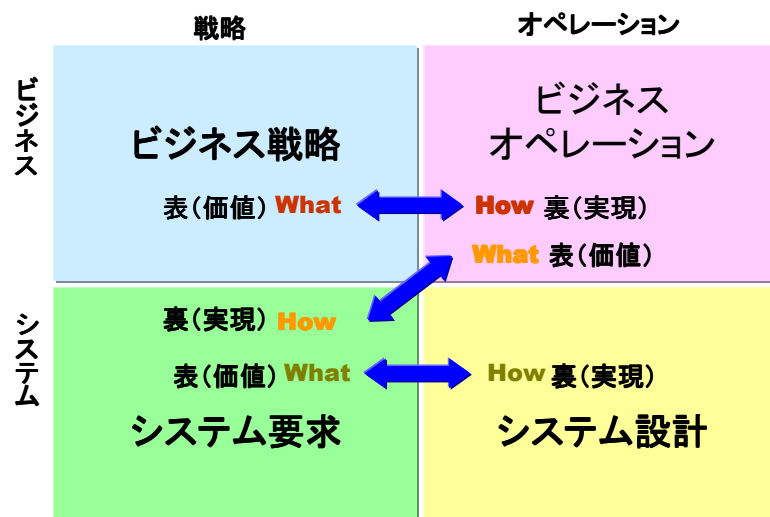
TFP分割の狙い Openthology ver1.0



MAMEZOU

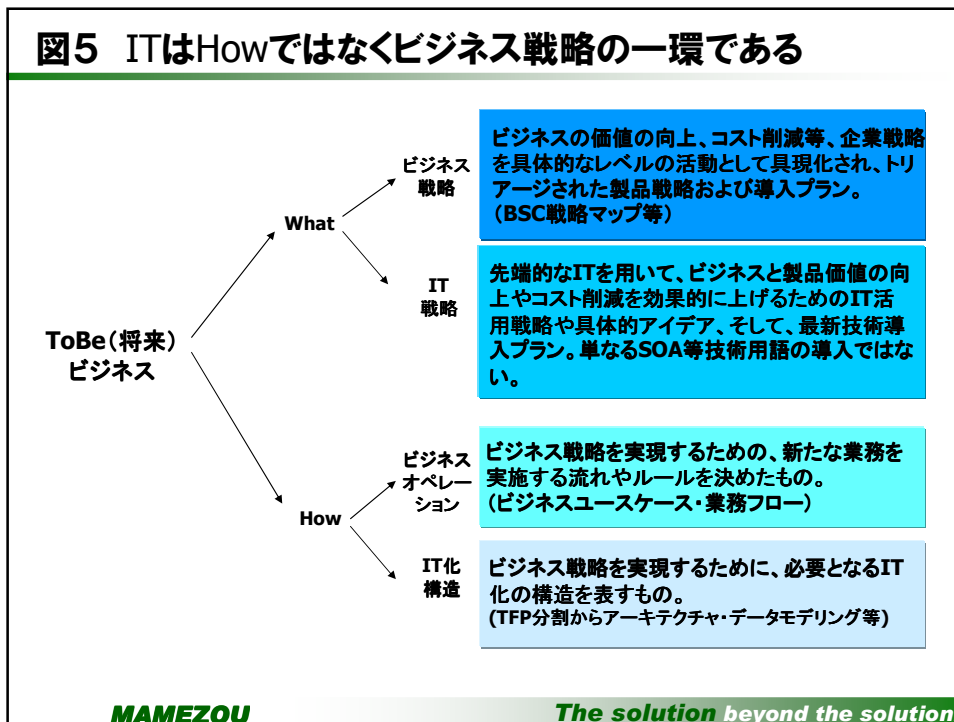
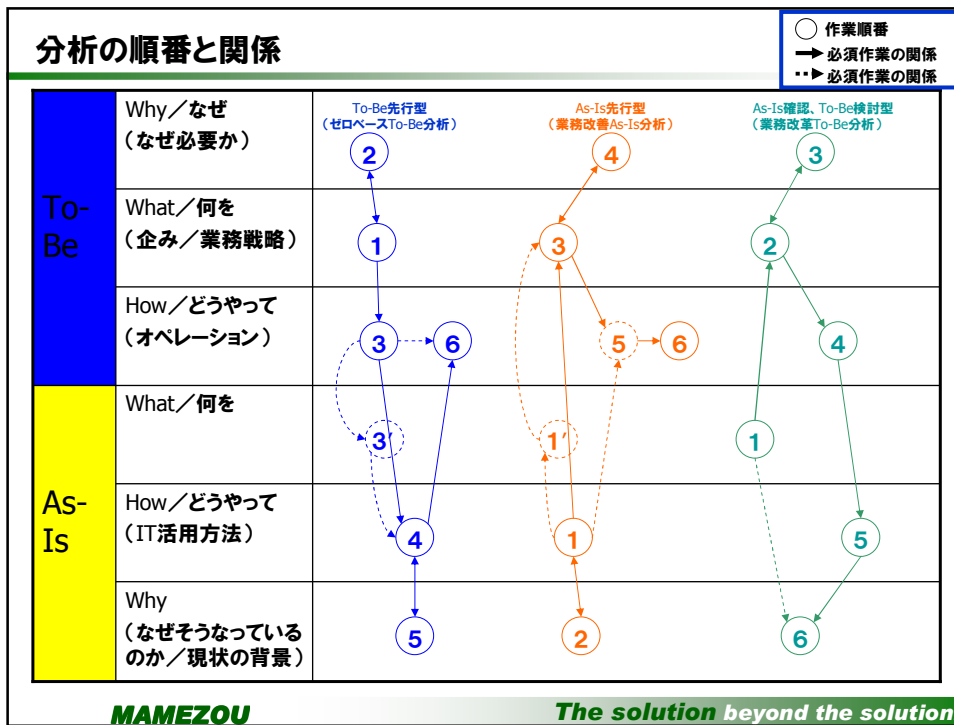
The solution beyond the solution.

ビジネスからシステム開発につなげる表と裏



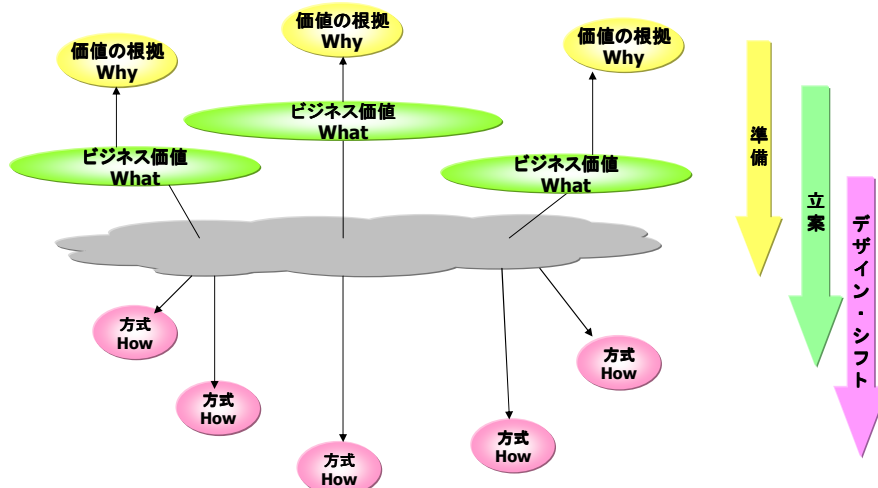
MAMEZOU

The solution beyond the solution.



要求開発が目指すべきもの

• ToBeビジネス(結果イメージ)の予測



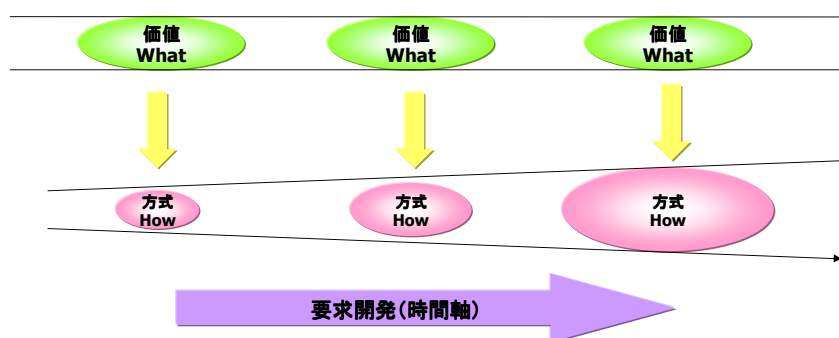
ビジネス価値の検証のためにHowを手探りする

MAMEZOU

The solution beyond the solution.

要求開発・できるだけ早期に価値の検証(方式)を行う事

- 結果イメージの予測
 - 価値の検証をいくつかの方式を通して確認すること。
- しかし、これでよいのか？

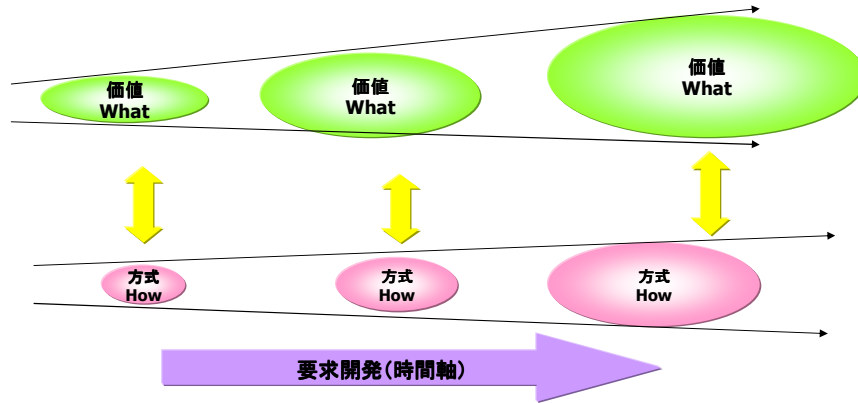


MAMEZOU

The solution beyond the solution.

要求開発・できるだけ早期に価値の検証(方式)を行う事

- ITの方式からビジネス価値を革新・拡大する
 - ITイノベーションが価値を膨らませます
 - イノベーションはビジネスとITの融合によってもたらされる

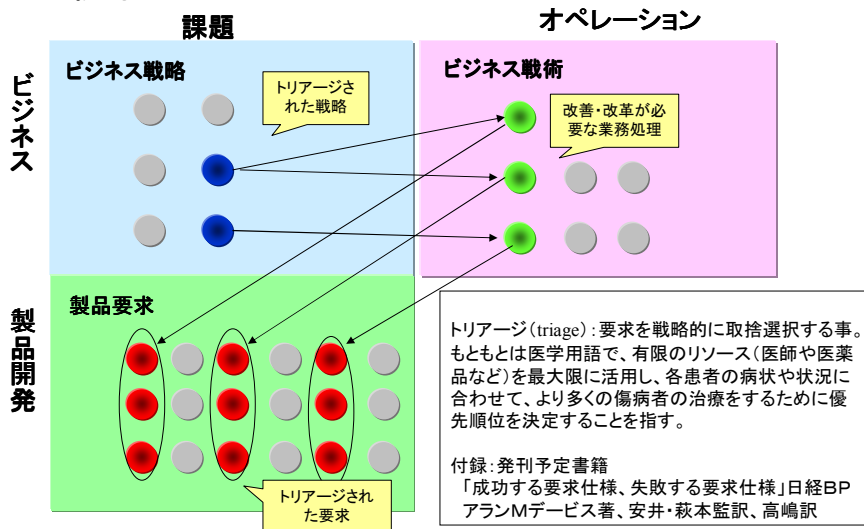


MAMEZOU

The solution beyond the solution.

戦略を選ばずして、要求は決まらず

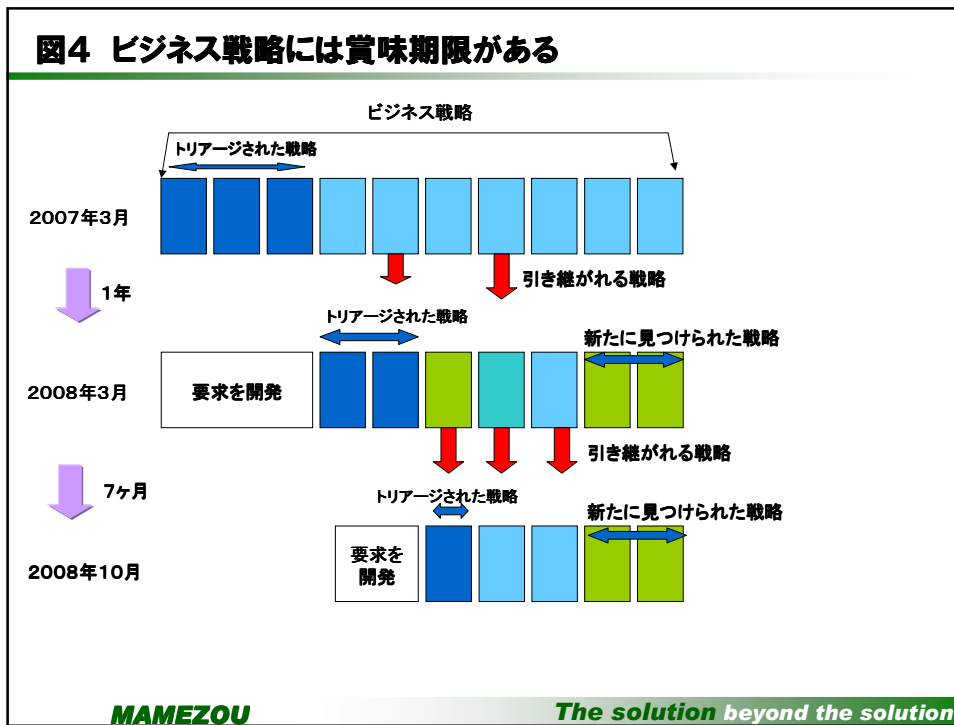
戦略のトリアージ



MAMEZOU

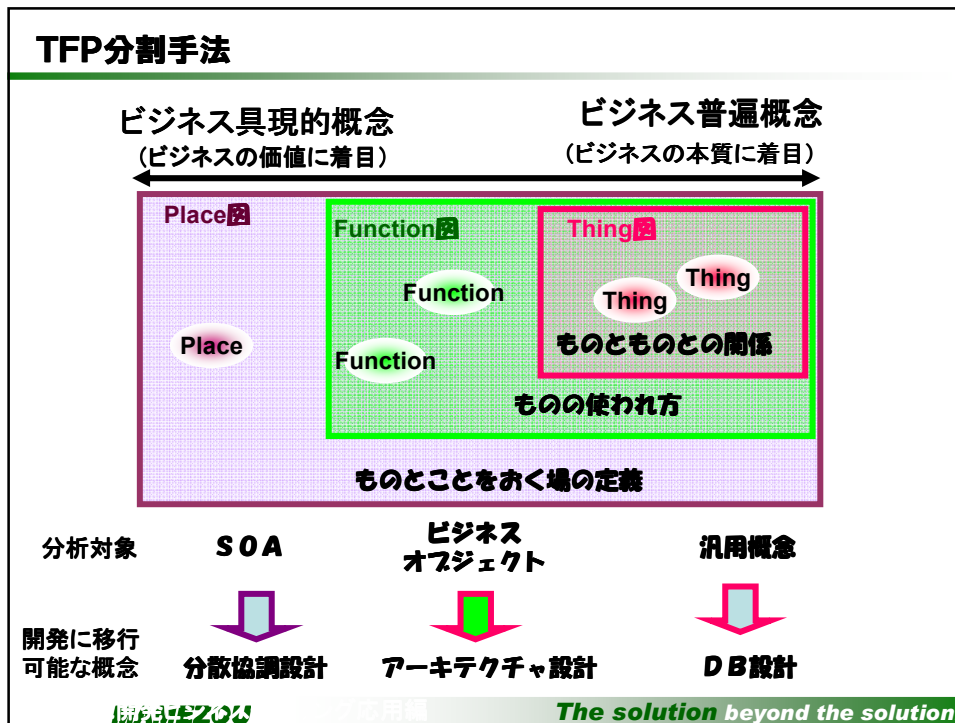
The solution beyond the solution.

図4 ビジネス戦略には賞味期限がある



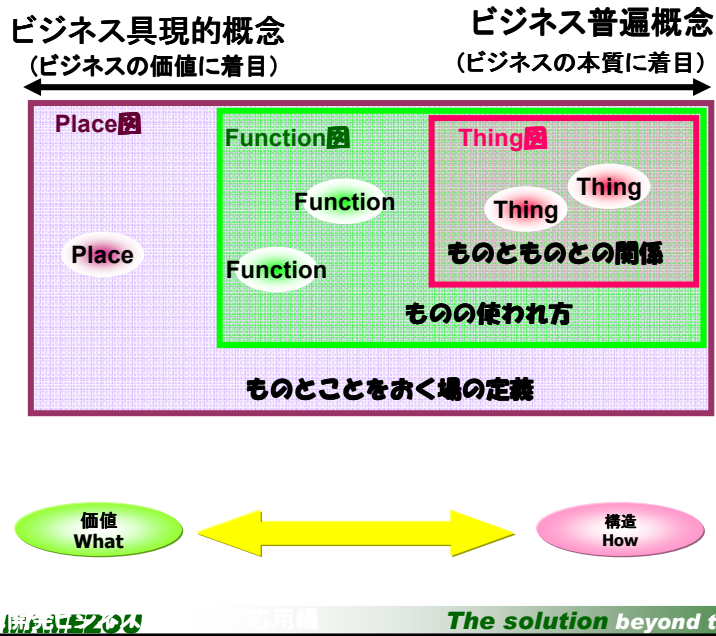
データモデルとオブジェクトモデルの課題

- **データモデル**
 - 長所
 - 物と場だけに着目する。所詮はデータ集合を静的に現すものなので、非常に解りやすく曖昧性がない。
 - 短所
 - 機能(業務)との関係が希薄。業務処理の概念化が異なる図(DFD)として表現するしかない。
- **オブジェクト(クラス)モデル**
 - 長所
 - 機能的なクラスを抽出するために、機能概念を含んだ自然な概念世界を表現できる。
 - 欠点
 - 概念の中に機能的なクラスが存在すると、機能の中に関連が隠されてしまったり、機能の入出力関係と、「もの」と「もの」との関係が混在することになり非常に曖昧になる。



- ### TFPの狙い
- 概念モデルのよさを残しつつ
 - 概念モデルの価値を高めたい!
 - ビジネスパーソンでもできる簡単な
 - 概念モデリング でありたい!
 - 所詮、ビジネスパーソンに興味を持ってもらわんとあきまへんわ!
 - 最近のテクノロジー動向に追従したモデルを表現したい
 - SOA、ソフトウェアファクトリ
 - 高度なモデリングも可能
 - インテリジェンスなFunctionやThingを使えば?
 - クリエイティブな概念モデリングを追求
 - 価値の創造を支援するモデリング
- At the bottom, the text reads: **MAMEZOU** The solution beyond the solution.

TFP分割手法



TFPの使い方

• 現状システム分析

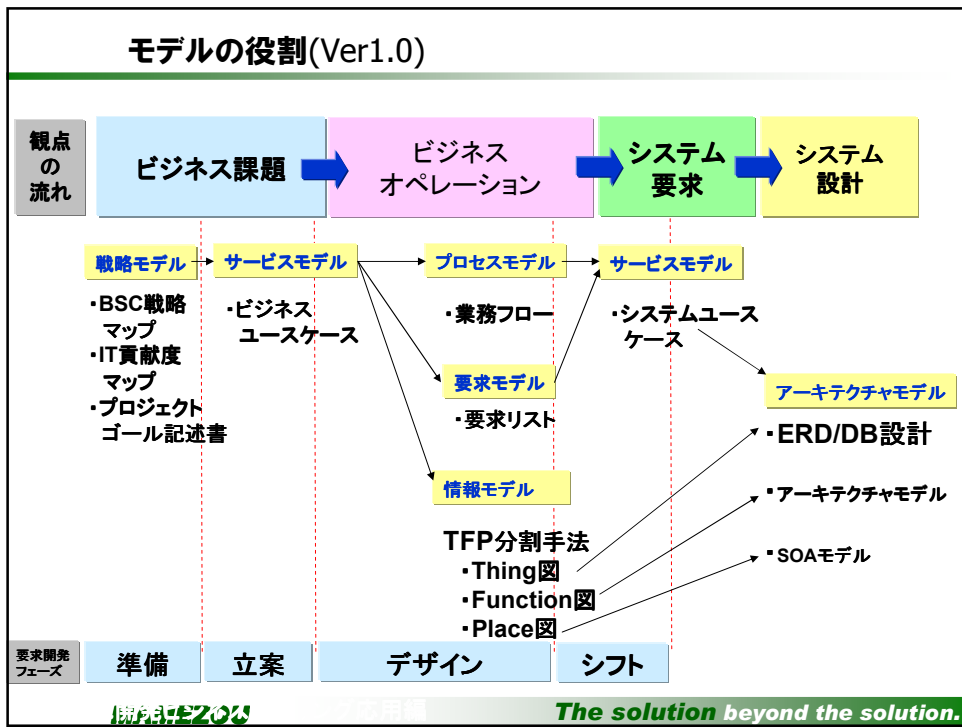
- ① とりあえず現システムをばっさり切ってみる
Place図
- ② 機能またはサブシステムに分類する
Function図
- ③ Function図にまたがるThingを正規化する
Thing図

• 次期ビジネス分析


- ① ビジネス概念の普遍的な関係を捉える
Thing図
- ② ビジネス概念の使われ方を説明する図を書いてみる
Function図
- ③ ビジネスコンポーネントの単位をあらわしてみる(たとえばSOA的)
Place図

MAMEZOU

The solution beyond the solution.



終わり



豆蔵
MAMEZOU

MAMEZOU *The solution beyond the solution.*